はじめに

ここ数日の間に一気に冷え込みが激しくなり、秋から冬への季節の変化が感じられるようになってきました。

山村留学センターでは、9月末から10月にかけて夏野菜の片付けや稲刈り、脱穀などを行い、今年度の農作業活動もひと段落し、11月20日の収穫祭へ向けて、少しずつ動き始めているところです。

留学生の体験活動も、全員で行う活動から、個人で興味を持ったことを追究していく「個人体験」へと変化を見せています。この「個人体験」の中で、私たちが特に大切にしていることは、「ここでしかできないこと」所謂「地域性」です。この活動を通して留学生が利賀村の方と出会い、利賀村ならではの体験を重ねることで、地域理解を深めたり、愛着を高めたりしていけると考えています。

私自身も、小学生時代の山村留学生活で個人体験を通して地域の方の暖かさに触れたことで、自分の中での「ふるさと」という感覚がさらに深まったように感じています。

もう既に子どもたちが利賀地域の様々な場所へ出かけ、お話を伺わせていただいたり、実際に活動の指導をしていただいたりしており、利賀地域の皆様には大変お世話になっております。この場をお借りして、御礼を申し上げます。本当にありがとうございます。

個人体験で得られた成果は、収穫祭の中で子どもたちが発表する予定です。今後も、色々な形でお世話になるかと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

邑上　貴厚

《9・10月の活動カレンダー》

9月

23日　個人体験活動
　　トウモロコシ収穫体験
25日　朴坂峠越え
26日　稲刈り
28日　ホームステイ開始

10月

8日　センター入り
9日　個人体験活動
　　畑作業（芋掘り）
10日　畑作業（ニンニクの植え付け）
　　脱穀
11日　演目練習見学会
16日　個人体験活動（～17日）

〒939-2516　富山県南砺市利賀村坂上18　南砺利賀みらい留学センター
TEL：0763-77-4103　　FAX ： 0763-77-4037
MAIL：nanto-toga-mirai@p1.tst.ne.jp
WEB：http://www.nanto-toga.com/

９／２３　トウモロコシ収穫体験

利賀村上百瀬地区の農家さんの畑を訪ね、トウモロコシの収穫体験をさせていただきました。収穫する前には採れたてのトウモロコシを味わい、「甘くておいしい！」と満足げな顔をする留学生たちでした。収穫の作業に移ると「俺のトウモロコシだー！」「たくさん採るぞ～！」と意気込み、気づけば腕一杯にトウモロコシを抱えていました。みんなで動いて、15 分で 100 本ほどを収穫。ひと働きした後は、トウモロコシの茎を咥え、芯に残る甘い水分を味わって収穫体験を終えました。

９／２５　朴坂峠越え

南砺市福光から金沢市二俣町を結ぶ、朴坂峠越えの古道（約 11.5km）を約６時間かけて歩きました。道傍には 33 体の観音像があり、「〇番観音あった！」と見つけては、添えられている短歌を読み上げていました。垂れ下がるツルにぶら下がったり、倒木に登って遊んだり、あけびやむかごなどを採って食べたりしながら、ゴールの本泉寺を目指しました。

ゴールしたときのみんなの表情には意外にも余裕が伺え、「楽しかった！」「意外と疲れずに歩けた！」と笑顔を見せながら話していました。

９／２６　稲刈り

５月 29 日の田植えから約４ヶ月。センターの田んぼにも金色の稲穂が一面に輝きを見せ、稲刈りの季節がやってきました。

作業当日の天気は雨で、延期のおそれもありましたが、午後から晴れたので「短い時間で頑張って終わらせよう！」と作業を開始しました。小学生は主に鎌での稲刈りを担当し、中学生は事前に練習した稲を束ねる結束の作業を行いました。初めて稲刈りをする子どもが多く、「腰が痛い…」「指が痛い…」と苦戦している様子でした。

地域の方も手伝いに来てくださり、圧倒的なスピードで稲を刈って結束していく熟練の技を見せてくださいました。そのおかげもあり、なんとか夕方までに作業を終えることができました。刈った稲は、稲架に掛け天日で乾燥させました。

１０／１０　脱穀

　稲刈りから２週間。夏を思わせるような陽気が続いた為、稲もしっかりと乾き、今年度最後の田んぼ作業、脱穀を行うことができました。

　この活動では、足踏み脱穀機や唐箕など昔ながらの農機具を使って作業を行い、先人の苦労や脱穀の細かい流れを実際に体験しました。

　最初のうちは、「僕がドラムを回したい！」「次交代して！」など皆楽しんで作業をしていましたが、延々と続く作業に疲れた表情が見え始めました。作業後半でコンバインを導入すると、一気に作業が進むようになり、合計３時間程で作業は終了。技術の進歩を体感した１日となりました。今年度センターで収穫した米は、玄米で約１５０ｋｇでした。

１０／１１　演目練習見学会

　留学センターに太鼓を貸してくださっている平村の方と、その他数名の方をお招きし、留学生が日々練習を重ねている太鼓の演目を見ていただきました。

　練習を初めて約１ヶ月半、初めて発表をするということで、「なんだかドキドキする。」「間違えたらどうしよう。」と緊張した面持ちでリハーサルを行いました。

　実際の発表では、２つの演目を荒削りながらも堂々と発表している姿がありました。これからも練習を続け、11 月 20 日の収穫祭をはじめ、色々な場面で披露することができたらと思っています。

〈　日常の様子　〉

時間を見つけて、
太鼓の自主練習

５人で一斉に縄跳び。

間引きした野菜を
かき揚げに。

個人体験の合間の休憩時間

収穫祭に向けて、装飾などの作戦会議

今月の畑作業

―　９月２７日（月）　夏野菜の片付け

晴れ間を縫って、夏野菜の片付けを行いました。トマトなどの株を引き抜き、支柱やマルチを片付けて、畝を崩していきました。放課後の慌ただしい中でしたが、日が暮れるまで作業しました。

―　１０月９日（土）　芋ほり

小学生で、５月に植えたサツマイモを掘りました。サツマイモは、ベニアズマと安納の２種類です。「色が違うね」「意外と大変…」「見て、でっかいのあったよ！」と話しながら、丁寧に掘り起こしていました。

―　１０月１０日（日）　にんにくの植え付け

この日は全員でにんにくを植え付け、人参や大根などの間引きをしました。間引き菜は昼食や夕食のおかずに。にんにくが収穫できるのは次年度と聞き、「え～」と残念そうな子もいましたが、今後も皆で成長を見守っていきます。

利賀みらい留学に寄せて

孫のような年齢の子供たちから「お父さんお母さん」と呼ばれる面はゆいような生活が始まって早や半年が過ぎました。この年齢になってよそのお子様を預かるなんてできるか不安でしたが、始まってみれば我が孫同様楽しくにぎやかな日々を過ごしております。

この地での一年間の生活に期待と希望をもってやってきた子供たち、託して下さったご両親のお気持ちを考えると責任を痛感しております。我が家は月に一度十日間、平均年齢がぐっと若返り、食卓に並ぶ物や洗濯物もバラエティに富み、生活にメリハリが出てきました。まさにメリーさんとハリーさんがやってきてくれた感じです。子どもとは思えないくらいしっかりした面があるかと思えば、時には甘えん坊になったりすっかりうちの子です。これからは少しずつ寒さに向かいますが、たくましく成長した二人が無事にご両親のもとに帰り、この地を故郷のようにおもってくれたら嬉しいなと思っています。

野原　恵子 さん
（受け入れ家庭）

《くま爺のつぶやき》

南砺利賀みらい留学
統括主幹　山本

利賀村で暮らし始めて一年半が過ぎた。森が蓄えた鮮烈な水が旨い。食べ物が美味しい。人と人との深い絆や温かみが、他所から来た私にはとても心強く居心地が良い。最近、年配の方々の男性女性に関係なく遠慮のない親し過ぎる距離感がやや気になり聞いてみた。「雪に閉ざされた冬季、学校から ２ キロ以上離れた家の子は寮で集団生活をして同じ釜の飯を食べた仲だから…」なるほど。山村留学生も二学期になり大家族となり絆が生まれつつある。４０年以上前の苦楽を共にした中学生寮での暮らしぶりを子どもたちに話してもらおうと考えている。